アートな縁結び旅

国宝・妻沼聖天山

「妻沼の聖天様」の愛称で親しまれ、縁結びの神様としても信仰される名刹。国宝に指定されている本殿「聖天堂」は、外壁一面に精緻な彫刻が施され、日光東照宮にも負けない圧倒的な迫力の建築！

神様同士の高次元の囲碁

布袋様と恵比寿様が囲碁に興じ、そのそばで大黒様が酒杯を手に、勝負の行方を食い入るように見ている。修復時には碁石の彩色がすっかりはげて棋譜が不明となっていたが、「神様同士の高次元の対局で、争いの碁ではなく、完璧なまでに絶妙な手の連続」「まさに神域の名局であったこと」を想定し、本因坊道策名人とその弟子で熊谷出身の熊谷本碩（くまがいほんせき）が対局した棋譜を再現した。

火難除けに龍と水

水と関わりが深い龍の彫刻を施すことで、火難除けに。本殿を覆うように施された絢爛豪華な彫刻は、全部で180種類もあるとされ、それぞれが意味をもっている。

季節ごとの描写が楽しい

縁の下の腰羽目（こしばめ）には、南・西・北の三面に、それぞれ春夏冬と季節を変えて唐子遊びをテーマとした彫刻が刻まれている。春は梅の花を背景に手つなぎ遊びをする子どもたち、夏は水遊び、冬は大きな雪玉を転がす子どもたちなど。子どもたちの表情がまるで生きているよう!

江戸時代中期に再建された本殿の華麗な外壁彫刻が見どころ。ひとつひとつの彫刻に隠されたストーリーを読み解くのも楽しいですよ。

めぬま観光ガイドボランティア・阿うんの会
会長 増田吾也さん

日光東照宮の進化形!? 江戸時代中期の装飾建築物

「平家物語」に登場し、かつて命を助けた木曽義仲の軍勢との戦いで壮烈な討死をした斎藤別当実盛公。「妻沼の聖天様」こと妻沼聖天山は、そんな義理人情にあつい人柄と武勇を伝えられる平安時代の武将が、1179（治承3）年、源平による戦乱のさなかに自らの守り本尊である大聖歓喜天を祀ったことに始まる。以来、福運厄除けの神として信仰を集め、縁結びや商売繁盛、学業成就などに霊験あらたかとされてきた。

妻沼の大火で焼失した本殿が再建されたのは、江戸中期の1760（宝暦10）年。奥殿、中殿、拝殿の3棟からなる権現造りで、その見どころは外壁一面に施された精緻な極彩色の彫刻！

「外壁に施された精緻な彫刻の見事さと、日光東照宮よりも100年余りのちに建てられたことから、日光東照宮の進化形といわれることもあります。ただし、絶大な権力をもつ江戸幕府の資金によって造営された日光東照宮との大きな違いは、妻沼の聖天様の建物がすべて庶民の浄財で建てられたという点です」と増田さん。

つまり妻沼の聖天様は、より身近な庶民の心の拠りどころとなってきた。250年の時の流れとともに生じた傷みや、剥落した彩色を建立当時のように美しくよみがえらせるため、2003年から約7年間の歳月をかけて「平成の大修理」が行われた。2012年には、埼玉県内建造物で初の国宝指定を受け、一躍注目されるようになった。

女子必見の縁結びスポット

妻沼聖天山は、古くから縁結びのご利益があると信仰されてきたスポット。種類の違う木が寄り添って育つ夫婦の木は、縁結びのご神木として祀られている。

えんむすびの鈴まもり 500円

ハート形のピンク色の鈴がちりんちりんと鳴る、かわいいお守り

エノキとケヤキが寄り添って育つ夫婦の木

国宝だけじゃない! 境内の見どころ

平安時代からの長い歳月を刻んできた信仰の地、妻沼聖天山。その境内には、装飾彫刻が見事な貴惣門や最古の建築である中門など、貴重な伝統建造物が建つ。

貴惣門

三破風造りという珍しい建築。地元商店では「招き門」と呼び、商売繁盛のご利益があると信仰される。

中門

境内で一番古い建物。1670（寛文10）年の妻沼の大火の際、ほとんどの建物が焼失したなかで唯一残った。

多宝塔

1955（昭和30）年、平和の塔として建立された。1階が四角形、2階が円形という宮大工の手による高度な技術の建築。

13匹のサルたちがユニーク!

勾欄を支えるような13匹のサルたちの様子がユーモラス。重そうに支えているサルもいれば、桃をかじっているサル、子どもを抱えるサルもいる。

縁の下から彫刻、彫刻!

基礎の立ち上がりの縁の下からすぐに彫刻が始まっているのも、妻沼聖天山が装飾建築として優れているとされる点。屋根の下まで見事な彫刻が息つく間もないほど連続する。

江戸時代の宮大工は「必ずこれを見るべき」とされた建築

妻沼聖天山

めぬましょうでんざん

☎048-588-1644
時境内自由、本殿拝観は9:30～16:30（受付は～16:00）
休無休　¥本殿拝観700円（境内自由）　P200台
所熊谷市妻沼1511
🚌JR熊谷駅から朝日バス太田駅・西小泉駅・妻沼聖天前行きで26分、妻沼聖天前下車すぐ
MAP P.23 C-1

妻沼聖天山名物・妻沼のいなり寿司

3代目 萩原悟さん

妻沼でいなり寿司といえば、昔から長さ10㎝以上のロングサイズが普通。原料の大豆が豊富だったからだと思います。

1人前　460円

聖天寿し

しょうでんずし

いなり寿司もかんぴょう巻もビッグサイズ。大鍋にしょうゆとザラメ糖をつぎ足しながら作るタレを受け継ぎ、先代からの味を守る。

☎048-588-0162
時9:00～売り切れ次第閉店
休月曜（祝日の場合は翌日休）
P周辺駐車場利用
所熊谷市妻沼1515
🚌JR熊谷駅から朝日バス太田駅・西小泉駅・妻沼聖天前行きで26分、妻沼聖天前下車すぐ
MAP P.23 C-1

めぬま観光ガイドボランティア　阿うんの会

めぬまかんこうガイドボランティアあうんのかい

68名のガイドが活動。妻沼聖天山を一緒に歩いて、装飾彫刻や建築などの見どころを案内してくれる。また、日本公許女医第一号であるとともに、女性解放運動家として女性の地位向上に寄与した荻野吟子女史に関する講演・講話も行う。

☎048-589-4740　（集合場所）本殿入口、予約不要（30名以上は聖天山へ電話予約が必要）　時10:00～16:00（11～4月は～15:00）、毎時0分から1時間ごとの案内、無休　¥無料　MAP P.23 C-1